



最優秀賞

吉田小学校 六年

清水 咲希



【題】「毎日の挨拶」

毎朝、目覚めると、朝の光が部屋に差し込んでいます。私は、毎朝、お母さんやお友達と挨拶を交わしています。挨拶は、気持ちを伝える大切な手段です。毎朝、笑顔で挨拶を交わすことで、一日の始まりが明るくなります。お母さんや先生に挨拶を交わすことで、感謝の気持ちを伝えることができます。挨拶は、心を繋ぐ大切な言葉です。毎朝、笑顔で挨拶を交わすことで、一日の始まりが明るくなります。お母さんや先生に挨拶を交わすことで、感謝の気持ちを伝えることができます。挨拶は、心を繋ぐ大切な言葉です。

最優秀賞

西中学校 二年

矢野 莉桜子

【題】「補読会をつけたスリルカードさん」

私は、毎朝、目覚めると、朝の光が部屋に差し込んでいます。私は、毎朝、お母さんやお友達と挨拶を交わしています。挨拶は、気持ちを伝える大切な手段です。毎朝、笑顔で挨拶を交わすことで、一日の始まりが明るくなります。お母さんや先生に挨拶を交わすことで、感謝の気持ちを伝えることができます。挨拶は、心を繋ぐ大切な言葉です。毎朝、笑顔で挨拶を交わすことで、一日の始まりが明るくなります。お母さんや先生に挨拶を交わすことで、感謝の気持ちを伝えることができます。挨拶は、心を繋ぐ大切な言葉です。

幸手市教育委員会と幸手市道徳教育推進協議会議では、SDGs11「住み続けられるまちづくり」を推進するため、心温まる、住みよいまちづくりを目指しています。

今年度のテーマは、「あいさつを通じた人と人とのつながり」です。あいさつは、人と人とのつながりを築く大切な手段の一つであり、相手に対する敬意を表し、自分自身も相手から尊重されることで、気持ちの良いコミュニケーションにつながっていきます。

普段、何気なくあいさつを交わしている人への「ありがとう」の気持ちで、幸手市にあいさつの輪が広がっていくことを願っています。